

善行ふれあいだより 第13号

発行 2026年(令和8年)3月25日
編集 善行地区郷土づくり推進会議
広報部会
事務局 藤沢市 善行市民センター
〒251-0871 藤沢市善行1-2-3
TEL 0466-81-4431
FAX 0466-81-4441
E-mail fj-zengyo-c@city.fujisawa.lg.jp



2月14日(土) 善行市民センターにて、参加者53人による善行地区全体集会を開催しました。
まず、善行地区郷土づくり推進会議について改めて皆さんに知っていただくため、推進会議の役割や地区内の多様な団体等と連携しながら事業を進めていることを説明しました。また、今期取り組んでいるテーマの一つである防災について、そなエリア東京、本所防災館を視察し学習した内容を事業にどう生かしたかなどの報告と、4部会(高齢者等移動支援、地域活性化、地域福祉、広報)の年間活動報告を行いました。各部会の詳細は2~3面をご覧ください。
活動報告後、善行団地をフィールドに「看護学×社会学で行う地域参加型研究」を行っている慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス看護医療学部専任講師の石川志麻先生に講演していただきました。地域活動の継続や住民参加を促進するヒントを、善行団地みまもり会議での焼き芋イベントや自治会と共催したとんど焼きいもなどの好事例を交えて教えていただきました。

2月14日(土) 善行市民センターにて、参加者53人による善行地区全体集会を開催しました。
まず、善行地区郷土づくり推進会議について改めて皆さんに知っていただくため、推進会議の役割や地区内の多様な団体等と連携しながら事業を進めていることを説明しました。また、今期取り組んでいるテーマの一つである防災について、そなエリア東京、本所防災館を視察し学習した内容を事業にどう生かしたかなどの報告と、4部会(高齢者等移動支援、地域活性化、地域福祉、広報)の年間活動報告を行いました。各部会の詳細は2~3面をご覧ください。
活動報告後、善行団地をフィールドに「看護学×社会学で行う地域参加型研究」を行っている慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス看護医療学部専任講師の石川志麻先生に講演していただきました。地域活動の継続や住民参加を促進するヒントを、善行団地みまもり会議での焼き芋イベントや自治会と共催したとんど焼きいもなどの好事例を交えて教えていただきました。



各地域団体の活動を紹介したパネル展示



こども実行委員が登壇

全体集会を開催

意見交換でいただいた「ご意見」(抜粋)

- ◆ 防災の取組について自治会町内会など地域との連携はどうか?
 - ↓ 各地域に向いて一緒に取り組んでいきたい。HUGの希望があれば調整する。
 - ◆ 市民の家などを活用した「コミュニティ・カフェ」は現在どうなっているのか?
 - ↓ 地域の縁側に発展しているケースもある。昨年度作成した「でかけよう!善行」はそのような市民が作る市民のための活動の場などを紹介したい。
 - ◆ 近年若年層や若い母親の自殺が増えていると聞く。孤立孤独の課題にも繋がるが、話を聞いてもらえたり、相談したりできる居場所づくりが必要だと思つた。
 - ↓ 地域全体の課題として共有していきたい。
 - ◆ 地域の縁側を始めて10年になり、ややマンネリ化してきた感があり本日の講演は大変勉強になった。
 - ↓ 皆さん、一度始めたら続けられないといけないと思いがちだが、活動の意義、目的を鑑みて達成していればその事業を卒業しても良いのではと考えてる。(石川先生)
 - ※アンケートでいただいた様々な意見も含め、今後の活動の参考にさせていただきます。



赤いポール

善行大橋交差点(五叉路)は子どもたちの通学路にもなっており、長年、交通安全対策を課題にしてきた場所です。
2024年6月に歩行者と車の接触事故が起きたことを受け、善行地区郷土づくり推進会議として何かできないかとの思いから、目に見える形での交通安全対策を早急に講じていただけるよう、同年11月、藤沢市長と藤沢北警察署長へ、「交通安全対策に関する要望書」を提出し、2025年8月、交差点の2箇所に赤いポールが設置されました。まずは見える形での交通安全対策、信号待ち歩行者の滞留スペースの確保ができました。
(議長 渡邊秀行)

各地域団体の活動状況

自治会連合会

◆自治会・町内会長による情報交換会、新春のつどいのほか、善行地区総合防災訓練を善行市民センターで実施しました。防災訓練としては初めての会場でしたが、駐車場地下にある耐震性貯水槽の操作訓練やHUG、キッチンカーによる食糧供給訓練などの新しい内容もあり、昨年より多くの参加がありました。



地区総合防災訓練

防犯協会

◆青パトによるパトロール、子どもの見守り、身近な危険から身を守るための防犯講座やVR防犯講習会を実施しました。



青パトで地域をパトロール

生活環境協議会

◆視察研修会、一日清掃デーに加え、環境映画会を実施しました。また、第1回善行ふるさとまつりに参加し、環境啓発クイズを実施しました。



善行ふるさとまつり

青少年育成協力会

◆ぜんぎようっ子三行詩、缶バッジづくり、春の子どもフェスティバルなどを実施しました。



缶バッジづくり

三者ふれあいネットワーク

◆教育文化のつどいとして善行かるた大会や紙ヒコーキ飛ばし大会を開催しました。



善行かるた大会

老人クラブ連合会

◆地区内の老人クラブ相互の連絡調整を行うとともに、独居・虚弱者宅訪問活動を行いました。

パートナーシップ善行

◆善行地区ボランティアセンターとして草刈りや大型ごみ搬出、蛍光灯の交換等の生活支援や毎月2回のクリーンウォークなどを行いました。



善行かるた

その他

◆5月18日に、善行発!子育て応援メッセが開催されました。

善行地区郷土づくり推進会議HP



善行市民センターの公式Instagramを始めました!



民生委員児童委員協議会

◆高齢者世帯の現況調査を含めた見守り活動、相談・助言などの援助、福祉サービスとのパイプ役、社会福祉事業との連携・支援、行政機関の業務への協力などいつもの活動に加え、他地区との情報交換や、研修を行いました。



湘南台地区との交換民児協

交通安全対策協議会

◆四季の交通安全・交通事故防止運動、月2回の街頭指導(旗振り)による交通事故防止活動などを実施しました。



年末の交通事故の防止運動

地域活性化部会

★藤沢石川線の道路整備

▼藤沢本町駅周辺
現在、道路改良が進められていることから、工事の進め方について、道路整備課から報告を受けました。



▼善行南工区

事業化に向けた意見交換を道路整備課と行いました。



★善行見どころ自撮りラリー

6月1日～8月4日、手に持ちながら善行を歩いて廻ろうという思いで作成した『善行見どころ自撮りラリーマップ』を活用して開催しました。地区内を見どころを巡る参加型イベントとして子どもから大人まで多くの方の参加がありました。手作りのふじきゅん♡と共に参加した方もいました。

★納涼祭
8月9日、東口駅前広場で行われた善行駅前新栄会主催の納涼祭で縁日ブース(ヨーヨー釣り)のお手伝いをしました。



納涼祭のにぎわい

★善行いきいき委員会 歴史をめぐって

1月17日(土)・18日(日)に開催しました。善行の良いところをたくさんの方に知ってもらおうと、「善行かるた」と「善行ふるさと見どころマップ」を組み合わせたミッション(課題)を出題し、善行の町を歩いてもらいました。このイベントの特色は、企画・準備の段階から子どもたちがすべて実行委員として参加し、イベント運営の主体として活動していることです。



準備作業をする子ども実行委員



善行かるたの一覧からヒントを探す参加者

参加者は179名で、善行地区以外の方も3割いました。ミッションに全問正解し、「善行マイスター」に認定された方は71名もいました。アンケートでは、「とても良かった・良かった」と答えた方が92%と高い割合でした。両日ともすばらしい天候に恵まれたこと、古くから善行に住んでいる方でも侯野・立石・大清水の歴史的な事柄に新しい発見があったこと、そして何より子どもたちが堂々とイベントを運営している様子が高評価につながったようです。高校生や大学生を含め大勢の方々にサポートしていただき感謝します。



作戦を練る参加者たち

地域福祉部会

石原谷市民の家で 防災講演会を開催

11月19日、市民の家の利用者を対象に防災講演会を開催し、20名が参加しました。

初めに、ふじさわ防災コミュニティの桑原防災士による地元周辺の地理や環境等を考えた防災対策についてのお話がありました。
次に湘南栄養指導センターの金山栄養士によるバッククッキングを行いました。
在宅避難のための食事の備えに向けて、普段も災害時も役立つ防災クッキングです。お湯ポチャレシビでポリ袋の中に食材を入れて湯煎する調理法です。卓上コンロを使い、米・スパゲティ・餅等と身近な食材の即席レシビに、全員が初めての経験で戸惑いながらも、出来上がった数種のメニューを試食しました。



防災講演会

【参加者の感想】
・簡単に作れておいしかった
・アイデアが素晴らしい
・地域に特化した防災の話が良かった
・役に立った…等

避難所運営ゲーム「HUG」を実施

10月4日善行市民センターで、自治連主催善行地区総合防災訓練が行われ、避難所運営を皆で考えるための疑似体験ゲームH(避難所)U(運営)G(ゲーム)を担当しました。バイオクロマートホール(多目的ホール)で、3回に分けて200人以上の方が参加しました。
今回は震度7の地震発生を想定し、善行地区6か所の指定避難所での運営を考えます。参加者は身近な避難所を選び、運営者になって、読み上げられた「避難者カード」「イベントカード」をそれぞれの状況にどのように対応していくか考えて避難所マップ上に配置していきます。会場に入った時は「一体何が始まるの?」といった様子でしたが、終了後には「楽しかった、面白かった」との声も頂きました。



避難所マップを使っのHUG体験

また、体育館で家庭備蓄のすすめ「大人2人分の1週間備蓄品」を、部会員が食品や備品を持ち寄り展示しました。



大人2人分の1週間備蓄品

各部会の活動

高齢者等移動支援部会

善行にお住まいの皆さまの移動手段として電動アシスト自転車に着目し、9月22日(月)、三共自動車学校で試乗会を開催しました。

電動アシスト・歩行器具の体験、LOVOT(ロボット)との触れ合い、TUTTIシヨップによるアプリのサポート、交通ルールやマナーの学習などさまざまな企業とコラボする試乗会となりました。

参加者は40人ほどで、試乗会に興味を持って参加いただき、電動アシスト自転車は最初の踏み始めが怖い、坂道を体験したいなどの声が寄せられました。また、シェアサイクルポートを地区内に増やせるようニーズ調査を行い、市に報告しました。



電動アシスト自転車試乗会

のりあい善行 10周年



善行地区郷土づくり推進会議の活動から発足した、のりあい善行は2016年4月の運行開始から10年目を迎え、今では利用者は1日最大1000人、年間1万6千人となりました。

ご利用の皆さまと運営費を支援していただいている善行地域の個人、事業者、団体の皆さまに感謝いたします。

のりあい善行の運行は地域の皆さま特に高齢者の買い物、通院など生活に必要な不可欠な移動手段となっています。運営は、昨今の物価高で厳しい状況にあります。今後の10年に向けてひとつひとつ解決して、皆さまのお役に立ちたいと考えています。

また、運営メンバーが高齢化していますので運営に参加していただける方をお待ちしています。
(特定非営利活動法人のりあい善行)